

## 雨の日の遊び

コロナウイルスの影響で外に出る機会も減ってしまい、今後もどうなっていくかわからない世の中。そして、これから梅雨時期を迎え、益々外に出ることもおっくうになってしまいますね。

今回は、外に出なくても、嫌な梅雨時期を楽しい時間へと変えてくれるようなアイデアと、雨に触れることで子どもにとってどんな影響が生まれるのか、を紹介したいと思います。

### ～雨遊びで養われていくこととは～

#### ★情緒が養われる★

いつも見ている景色が雨によって変わり自然の力を感じ取ることが出来ます。雨上がりに現れる虹のはかなさも、子どもの情緒を大いに刺激します。

#### ★五感を養う★

雨の落ちる場所によって変わる雨音（聴覚）、雨で変わる景色（視覚）、湿度によって強くなる自然の匂い（嗅覚）、手のひらで直接受けることで感じる冷たさや雨粒の強弱（触覚）、など、五感を使って雨を感じる事が出来ます。

#### ★体力をつける★

雨の日にしか見られない生き物を探したり、滑らないように注意しながら歩いたり、水たまりを飛び越えたり、自然に運動量が増えます。さらに、傘を持たずに思い切って雨の中に飛び込めば、水遊びと同様の運動が期待できます。

#### ★遊び心が養われる★

日常の景色が雨によって変わっていくことにワクワクします。例えば、レインコートや長靴等は、子どもにとって特別なアイテムとなり、それを着て雨の中を冒険することは大いに気分を盛り上げてくれます。

#### ★想像力を養う★

身近な容器に雨水を溜めたり、枝をゆらして葉っぱの水滴を降られたり、水溜まりにはっぱを浮かべて流れる方向を探したり、脳を使いながら雨の中で遊ぶ方法を工夫していきます。

### 身近なもので雨を感じられる遊び

#### 水性ペンで描いたものを雨に濡らしてみる

まず室内で、画用紙に水性ペンで好きな絵を描いてみましょう。描いた紙を外に持っていき雨に当てれば、次第に水性ペンがにじんで色が混ざっていきます。

画用紙の上の絵が雨に濡れ、不思議な模様に変化していく様子を観察してみましょう。きっと晴れた日にはなかなか体験できない新たな学びに繋がるはずです。

#### 雨の日はシャボン玉遊び

「雨の日にシャボン玉をしても、雨粒に当たってすぐに割れてしまうのでは？」と思う人もいるかもしれませんが、しかし、雨の日にシャボン玉を作ると、割れてしまうどころか雨の水分を取り込んで大きくなる場合があります。さらに地面に落ちたり傘に張り付いたりしたあとにも、シャボン玉は割れずにキラキラと輝きます。晴れの日とはひと味違う、雨の日ならではのシャボン玉の魅力を親子で堪能してみてください。

### 番外編

#### ★お部屋の中では★

##### 《洗濯ばさみの宝探し》

家中のあちこちに洗濯ばさみをつけておき、見つけっこ遊びをしましょう。いくつかの洗濯ばさみにカードを挟んでおき、「カードを5枚集めたらおやつ！」などとルールをつくっておくと、楽しさ倍増！また、子どもに洗濯ばさみをつけてもらい、大人が探す、というように役割を交替してもいいですね。

#### ★外に出られるようになったら★

##### 《水たまりをバシャバシャ！》

濡れてもいい格好をしているからこそ、普段できない水遊びを楽しめるのも雨の日の特徴。水たまりの中を長靴でバシャバシャ歩きまわってみましょう。のぞきこんで、水面に映る景色を見てみたり、葉っぱを浮かべたり、小石を投げ入れたり。水たまりひとつで、できることがたくさんあります。

##### 《雨の日にしか会えない生き物を探す》

晴れた日に見かけるアリやダンゴムシたちは、雨の日になると姿を隠してしまいます。その代わりに登場するのがカエル・カタツムリ・ナメクジといった生き物たち。茂みや木の根本をよく見ると集まっていることがあります。雨の日は生き物を観察する絶好の機会です。

### 雨の中で遊んだ後は…

長時間雨に当たると体が冷えてしまうおそれがあります。帰ったらすぐに身体を温められるよう、玄関にタオルを用意したり、お風呂を準備しておいたりするのも良いですね！

#### 『雨、あめ』



絵・作

ピーターズピア

レインコートを着て雨のふる庭へ飛び出していく喜び、クモの巣に光る雨のしずく、水たまりに広がる波紋、びしょびしょの体をふいて温かい飲み物を飲む瞬間、雨上がりの庭の澄んだ空気。雨の日の楽しさ、美しさに溢れていて、いきいきと描かれた新鮮な世界が目に飛び込んできます。字の無い絵本。

出版社：評論社

### 次回は

#### 『夏の遊び』

についての内容をお送り致します！